



ギャグで発表会!

小・中学生対象

夏休み
子ども体験

新喜劇

日時 2018年8月3日(金)～8月5日(日) 全3日間
10:00～12:00

講師 砂川一茂 放送作家

講師からのメッセージ

「体験新喜劇」の主なコンセプトでもある他者への思いやりや、チームワークづくり、さらには自己肯定感の目覚めなどは、子ども頃から養っていくことが重要とされています。個々の個性を大切にしながら、アドリブ重視の自由な雰囲気の中で、とにかく実践!とにかく動く!とにかくギャグをしてみる...など、誰にでも楽しく、そして、簡単に出来る「体験新喜劇」の魅力をご存分に味わって頂きます。

内容	
8/3	・ノリツッコミの「ノリ」はやさしさ! ・アドリブにちょうせんしよう!
8/4	・笑いのテクニックを学ぶ! ・ミニ喜劇をやってみよう!
8/5	・おぼえたギャグをしてみよう! ・「喜劇ミニ発表会」

申込開始 2018年6月12日(火) 受付 電話またはFAX (9:00～17:00) 受講料 3日間で1,000円

定員 先着順 20名(小学生から中学生まで) ※保護者・幼児の見学可 場所 札幌市教育文化会館 研修室401 (札幌市中央区北1条西13丁目)

札幌市教育文化会館 事業課 TEL 011-271-5822 FAX 011-271-1916 主催:札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団) 後援:札幌市・札幌市教育委員会 休館日:第2,第4日曜日(祝日の場合は翌火曜日)

夏休み 子ども体験 新喜劇 申込書

◆受付:6月12日(火)～ 定員になり次第締め切ります。

FAX:011-271-1916 電話:011-271-5822

【受付時間 9:00～17:00】 ※FAXの方はこの申込書をご利用下さい。 ※保護者の方が記入してください。

受講者名	フリガナ	フリガナ
	様 様	
学校名/学年	学校	年
	学校	年
保護者名	フリガナ	
連絡先 (電話・FAX)	ご住所 〒	
	TEL	FAX
ワークショップ歴	過去に札幌市教育文化会館のワークショップに参加したことがありますか?	
	無	有 ⇒ 平成 年 ワークショップ

講師プロフィール



砂川一茂 放送作家

1959年、大阪市出身。「よしもと新喜劇」創成期に活躍した作家、竹本浩三氏(現、吉本興業文芸顧問)に師事。舞台喜劇を学ぶ。1995年「阪神・淡路大震災」の年、仮設住宅で行った喜劇公演が、その後、自身の喜劇観を大きく変えることになる。38歳で札幌に移住。2006年には「笑い療法士」の資格(3級)を取得。道内各地で「笑い与健康」「職場と笑い」などをテーマに講演多数。2008年には札幌市教育文化会館主催の市民喜劇団「教文13丁目笑劇一座」の講師になる。現在、札幌～神戸・大阪などを中心に阪神・淡路大震災の教訓から「笑い癒し」をテーマにした、誰にでも簡単に参加出来る「体験新喜劇」の普及に取り組む。

- 受講料は初日に受付いたします。
- 服装は動きやすい服をお願いいたします。
- 保護者の見学は可能です。
- 最終日には、ミニ発表会を開催しますのでご鑑賞下さい。
- 当館にはお客様用の駐車場がございませんので、近隣の有料駐車場をご利用ください。